



山添村 西豊地区まちづくり基本構想



令和4年2月

1. まちづくり基本構想について
2. 地域の現状
3. 住民の声
4. 解決すべき課題の整理
5. コンセプトと基本方針
6. プロジェクトイメージ
7. まちづくりを通してめざすこと
8. 構想図

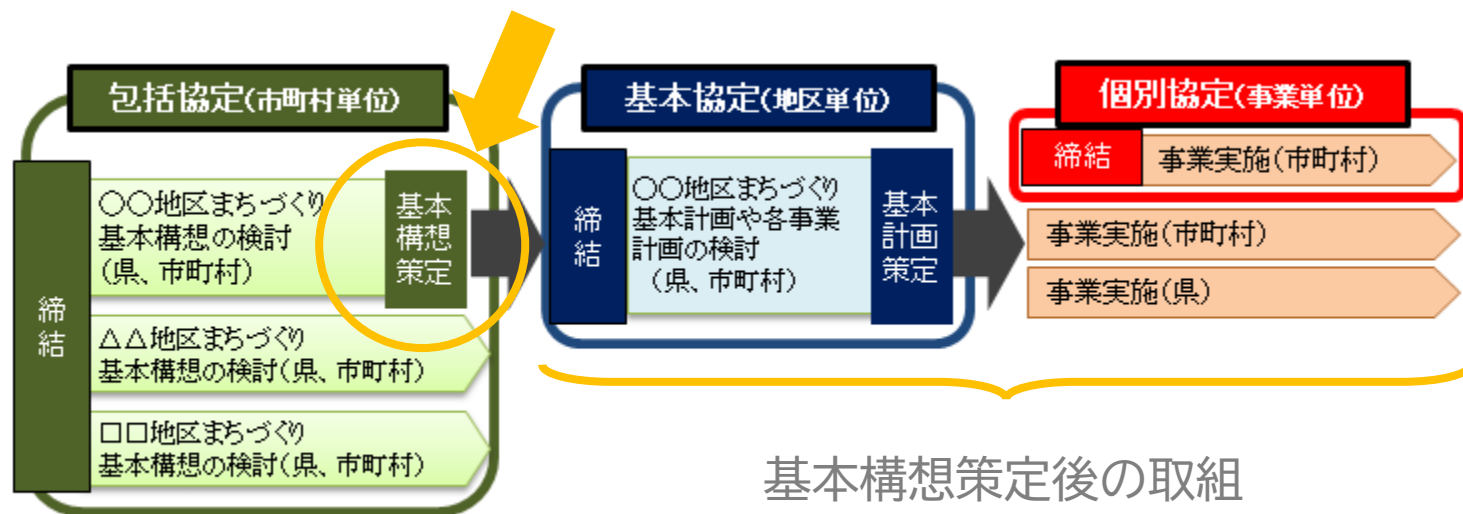
西豊地区
まちづくり
基本構想

1.まちづくり基本構想について

西豊地区まちづくり基本構想とは

山添村(以下「本村」という。)は、平成30年4月、村内における持続的発展や活性化を企図したまちづくりに資するため、相互に情報や意見の交換に努め、協働により取り組むことが可能な事項について緊密に連携し協力することを目的に、西豊地区をその対象地区として、奈良県とまちづくりに関する包括協定を締結しました。

「西豊地区まちづくり基本構想」は、この協定における取組事項であり、今後、本村が同地区におけるまちづくりを奈良県と協働で進めるにあたり、その基本的な方向性やめざす将来像、基本となる取組等を示し、共有するために策定するものです。



基本構想策定の考え方

「西豊地区まちづくり基本構想」の策定にあたっては、本村のまちづくりの基本的な考え方として平成30年4月に作成した「山添村のまちづくりについて」で示した基本的な考え方や方向性を**継承**しつつ、新たに設置した「西豊地区まちづくり検討委員会」において地域の現状や課題をさらに検証し、地域が望む将来像をもとに、まちづくりのコンセプトや取組の基本方針等について**見直し**と**発展**を図りました。

策定を進めた令和2年から令和3年にかけては新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大があり、様々な価値観や地域における生活、コミュニティのあり方等についても官民で協議した上での構想となっています。



継承
見直し
発展



対象区域（連携推進区域）

対象区域は、以下に示す村内5大字及び予定する事業に伴う拡張エリアとします。

- 伏拝区
- 助命区
- 箕輪区
- 大塩区
- 堂前区

国土地理院承認 平14給保 第149号

奈良県



西豊地区
まちづくり
基本構想

2.地域の現状

山添村の概要

山添村は奈良県の北東端の大和高原と呼ばれる一角にあり、標高は120～620m。東部は三重県の伊賀市や名張市、北西部は奈良市、南部は宇陀市に接しています。面積は66.52平方キロメートルで、その約8割を山林が占め、のちに木津川へと注ぐ山あいからの清らかな流れに沿って30の集落と農地が点在しています。

村の歴史は古く、約1万5千年前に遡ることができ、布目川、遅瀬川、名張川、笠間川等の流域では、発掘調査によって縄文時代の遺物が数多く出土し、太古から生活が営まれていたことが確認されています。

笠間川左岸の毛原廃寺には、奈良時代に建立された際の礎石が当時のまま残されており、往時の繁栄を偲ぶことができます。また、本村の観光の拠点である神野山の山腹に建つ神野寺は、僧・行基の開基と伝えられています。江戸時代には、郡山藩、藤堂藩の支配下となって純農村の形を成し、その後、昭和31年9月30日に添上郡東山村と山辺郡波多野村、豊原村の3村が合併して誕生した現在の山添村は、平成28年に立村60年を迎えました。

からす天狗の

てんまる



村のマスコットキャラクター

山添村の人口・世帯

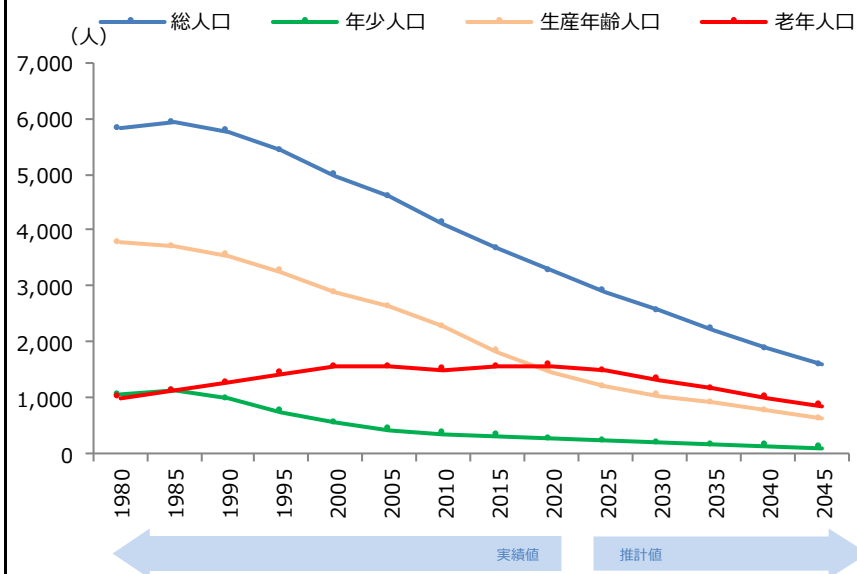
山添村の令和2年11月30日現在の人口は**3,383人**、世帯数は**1,343世帯**、世帯当たり人員2.52人となっています。(住民基本台帳)

●高齢化率:**48.2%** (令和2年11月30日現在)

●2045年の人口(推計値):1578人 (国立社会保障・人口問題研究所)

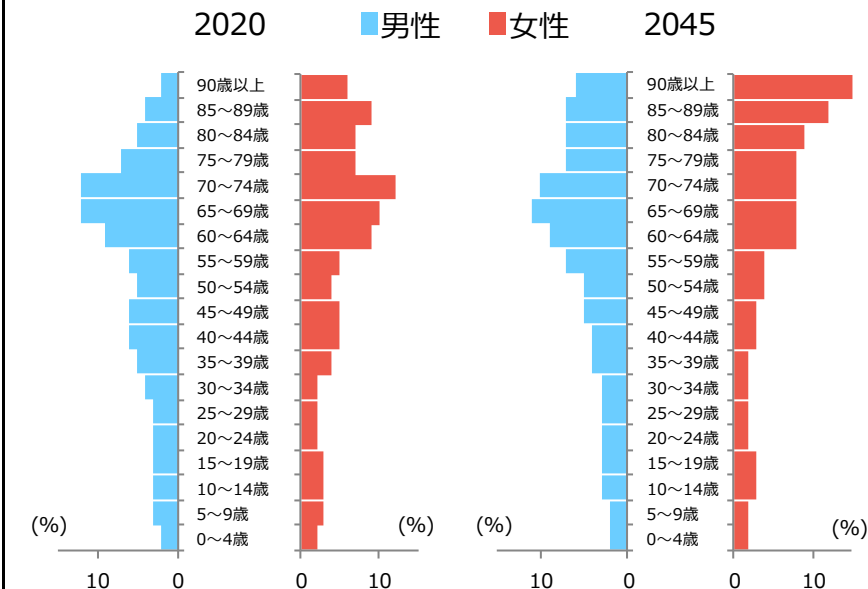
グラフ出典:RESAS

①人口推移



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

②人口ピラミッド



【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」
【注記】2020年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」のデータ（平成30年3月公表）に基づく推計値。

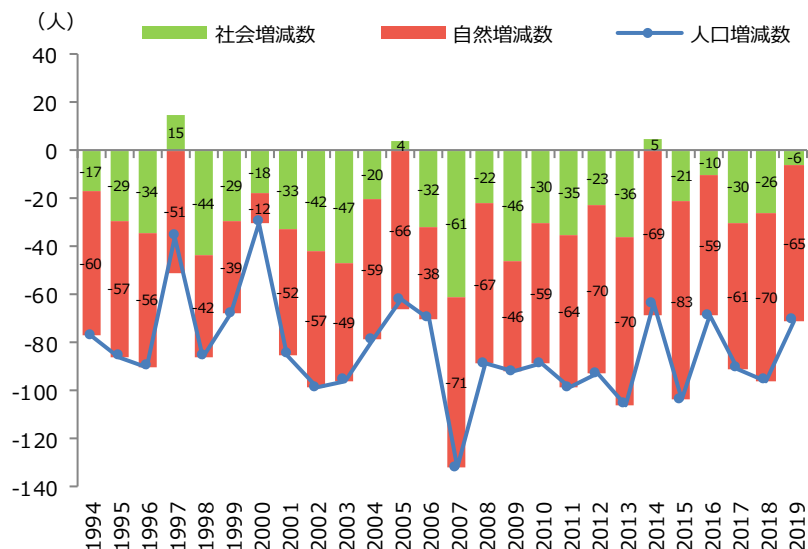
山添村の人口動態

山添村では、自然増減・社会増減とも概ね減少傾向にあります。

年齢階級別の純移動数(転入数－転出数)を時系列にみると、近年は就学・就職に伴う10代・20代のマイナス移動(転出過多)が減少している一方、**60代・70代のマイナス移動が増加**していることが特徴的です。

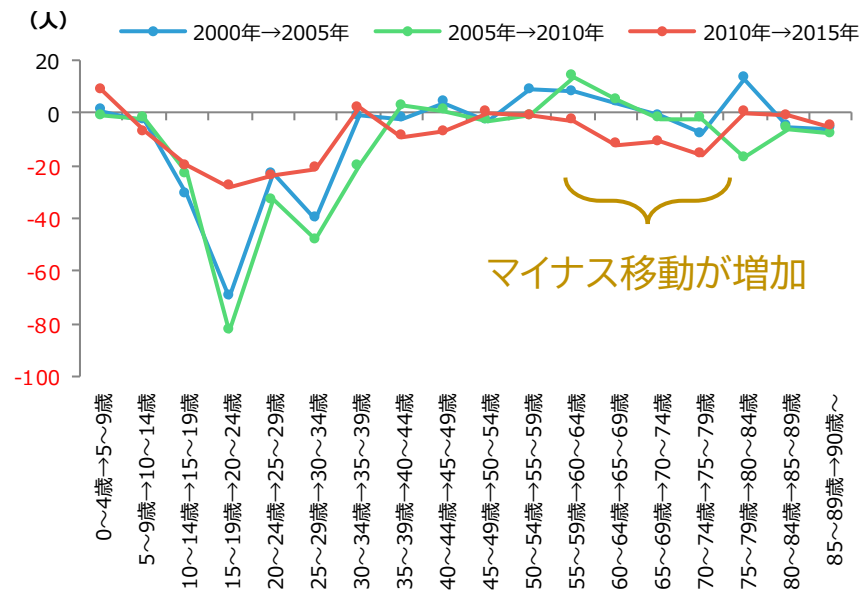
グラフ出典:RESAS

①自然増減・社会増減の推移



【出典】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」再編加工
【注記】2012年までは年度データ、2013年以降は年次データ。2011年までは日本人のみ、2012年以降は外国人を含む数字。

②年齢階級別純移動数の時系列推移



【出典】総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成

山添村の産業

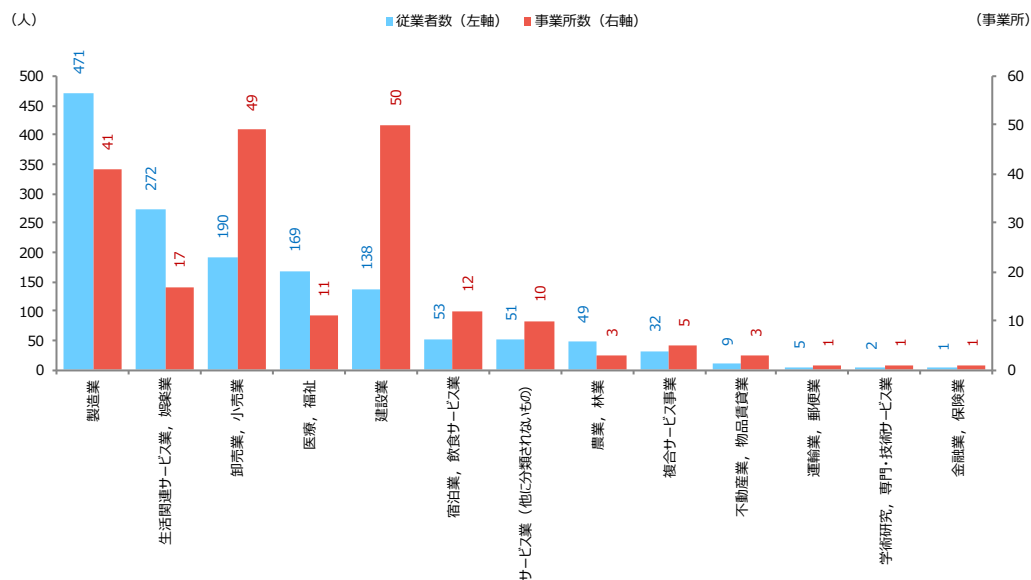
山添村の産業を産業大分類別にみると、従業者数(事業所単位)では「製造業」が、事業所数では「建設業」が最も多くなっています。

付加価値額でみると、付加価値額(企業単位)が最も高いのは「医療、福祉」で、次いで「製造業」「建設業」となっていますが、**特化係数では「生活関連サービス業、娯楽業」が5.20と特に高くなっています。**

グラフ出典: RESAS

①産業大分類別に見た従業者数(事業所単位)と事業所数

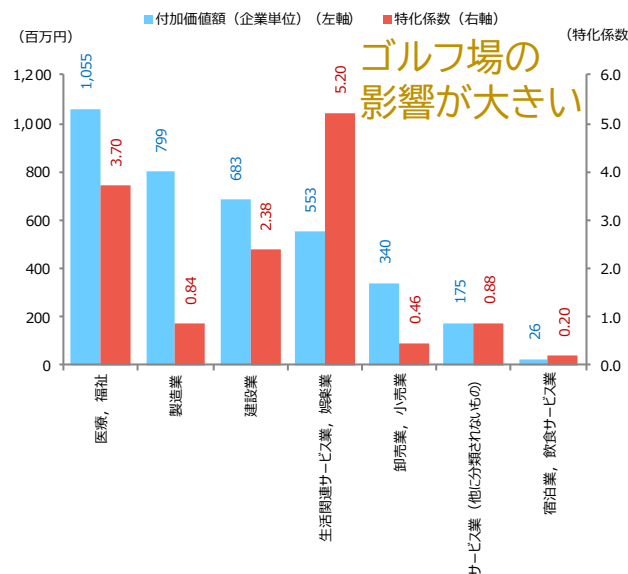
2016年



【出典】総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

②産業大分類別に見た付加価値額(企業単位)

2016年

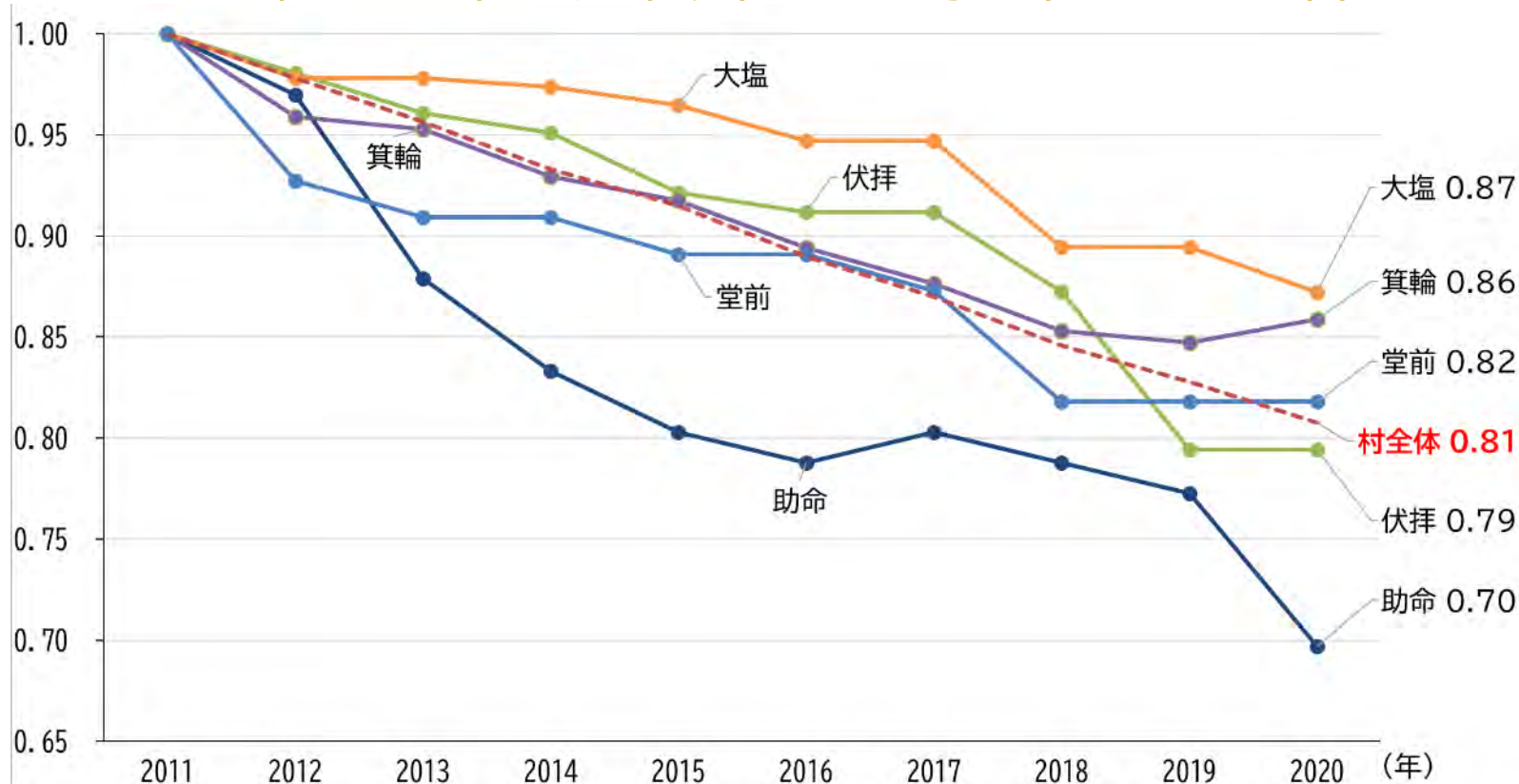


ゴルフ場の影響が大きい

【出典】総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

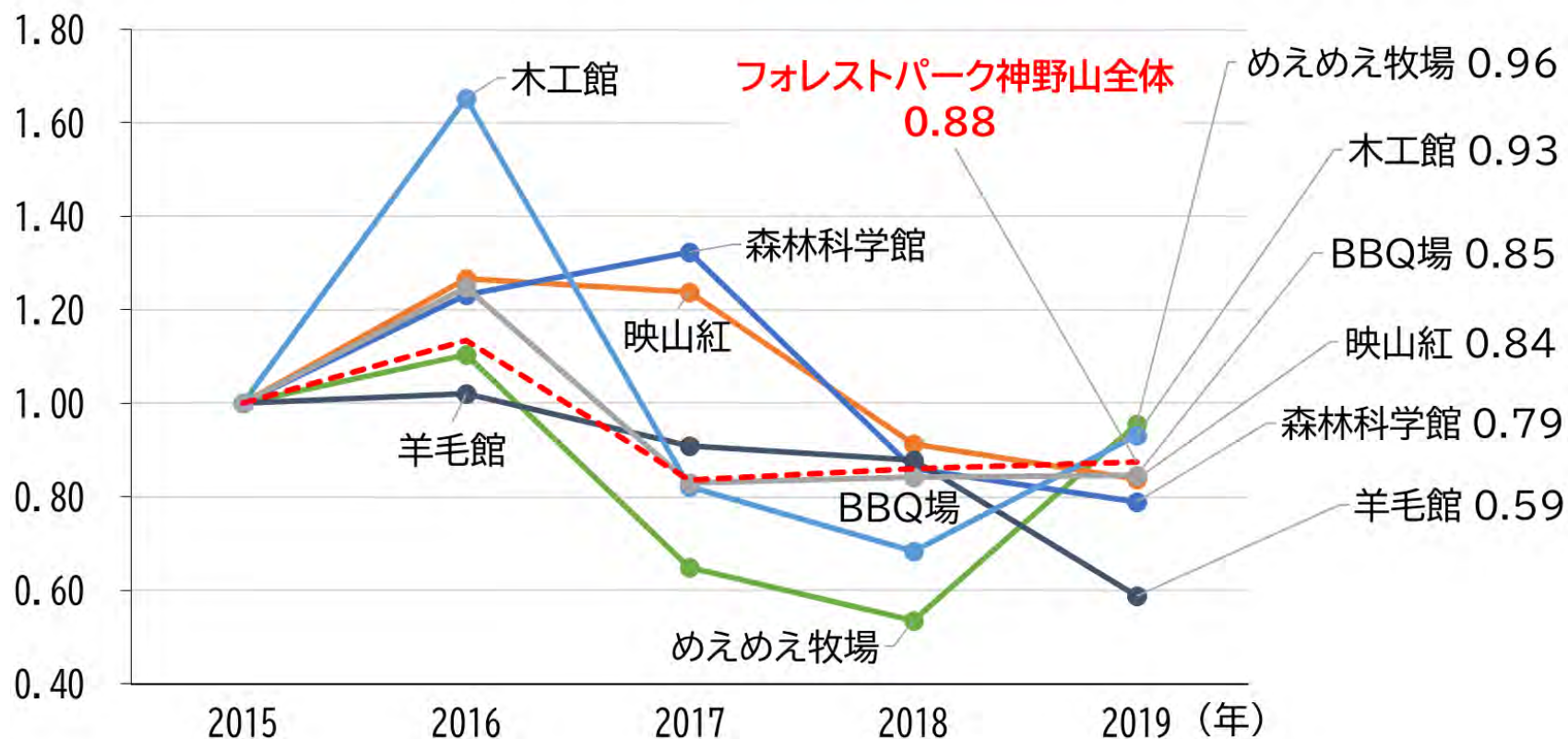
西豊地区の人口推移

西豊地区の人口推移について、2011年(平成23年)の人口を基準(1.00)として大字ごとにみると、2020年には大塩区は0.87、箕輪区は0.86、堂前区は0.82で村全体の0.81よりも減少の割合が小さい一方、伏拝区は0.79、助命区は0.70で村全体よりも減少の幅が大きくなっています。(2020年11月末現在の5大字の住基人口は計511人)



西豊地区の観光入込客数の推移

西豊地区にある県立自然公園「フォレストパーク神野山」の観光入込客数の推移について、2015年(平成27年)の入込客数を基準(1.00)としてみると、2019年にはフォレストパーク神野山全体で0.88となっており、施設別では羊毛館が0.59で減少の幅が最も大きくなっています。



神野山の「ツツジ」と「羊」

(1)神野山のツツジ

神野山は古くからツツジの名所として知られており、村は昭和51年に「山つつじ」を村花(村の花)に制定しました。「山つつじ」は、山添村歌(昭和52年制定)の歌詞にも「みどり萌えたつ神野山」とともに、「赤く咲くのは山つつじ」として登場しています。

現在、神野山には「山つつじ」のほか、ミツバツツジ、ドウザンツツジ、ヒラドツツジ、レンゲツツジ、モチツツジ、アケボノツツジなど多くのツツジが自生または植栽され、4月から6月にかけては山を鮮やかに彩っています。

(2)神野山の羊

本村では、神野山公園(現「フォレストパーク神野山」)内の野草等を飼料として「めん羊」を放牧し、動物とのふれあいの場としての観光牧場を整備することを目的に、昭和63年度に「種めん羊」22頭を飼い入れました。

牧場はその後「めえめえ牧場」と命名され、現在は頭部が黒い肉用種のサフォークと、白くふわふわした毛肉兼用種のコリデールを合わせて約60頭を放牧しており、休日には多くの家族連れで賑わっています。



星空スポットとして注目の神野山

神野山は、近年、星空の観賞ポイントを紹介する多くのサイトで上位に選ばれるなど、関西屈指の星空スポットとして注目されています。

RETRIP

トップページ / エリア一覧 / 京都 / 三本 / 西豊・関西地区

星に願いを！近畿地方で満天の星空が見えるおすすめ
スポットTOP20

836 920727

お気に入り

お気に入り

お気に入り



天の川撮影・神野山山頂 A Copyright(C) 2015 神野山天文クラブ

- 【1位】 フォレストパーク神野山 / 奈良
- 【2位】 大塔コスミックパーク星のくに / 奈良
- 【3位】 西はりま天文台公園 / 兵庫
- 【4位】 みさと天文台 / 和歌山
- 【5位】 鶴姫公園 / 奈良
- 【6位】 天川村 / 奈良
- 【7位】 オーベルジュ アルピレオ天文台 / 兵庫
- 【8位】 丹後海と星の見える丘公園 / 京都
- 【9位】 蔵王ダム / 滋賀
- 【10位】 大台ヶ原 / 奈良
- 【11位】 かわべ天文公園 / 和歌山
- 【12位】 護摩壇山 / 和歌山
- 【13位】 峰山高原 / 兵庫
- 【14位】 高野龍神スカイライン / 和歌山
- 【15位】 曾爾高原 / 奈良
- 【16位】 潮岬 / 和歌山
- 【17位】 伊丹スカイパーク / 兵庫
- 【18位】 厚耶山 掬星台 / 兵庫
- 【19位】 六甲ガーデンテラス / 兵庫
- 【20位】 メタセコイア並木 / 滋賀

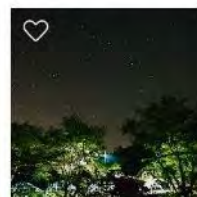
【1位】 フォレストパーク神野山 / 奈良



by jingorou80

まず第一位は『フォレストパーク神野山（こうのやま）』はアクセスがとてもいいので、気軽に星を見に行きたい時に最適です。BBQ場や牧場もあり子供と一緒に楽しめますよ。家族で行きたい星空おすすめスポットです。

詳細情報



フォレストパーク神野山

奈良県山辺郡 山添村大字伏拝888-1

0743-87-0548

WEBサイト「RETRIP」、
mexさんのまとめ記事から転載

西豊地区
まちづくり
基本構想

3.住民の声

アンケートの実施概要

本基本構想策定にあたり、以下の通り、住民アンケートを実施しました。

- 調査時期:令和2年8月
- 調査方法:西豊地区各大字区長より調査票を配布～回収
- 対象者:以下の少なくとも1つに該当する中学1年生以上
 - ①現在、西豊地区に居住 ②西豊地区出身
- 回収数:507枚(村内居住者:366／村外居住者:140／無回答:1)
 - ※366は令和2年7月末の地区住基人口515の71%

居住地	
回答	%
村内	72.2
村外	27.6
不明/無回答	0.2
計	100.0

性別	
回答	%
男性	47.3
女性	50.7
不明/無回答	2.0
計	100.0

職業等	
回答	%
村内自営	14.6
村内勤務	6.1
村外自営	3.7
村外勤務	40.8
家事など	22.9
学生	4.1
その他	2.8
不明/無回答	4.9
計	100.0

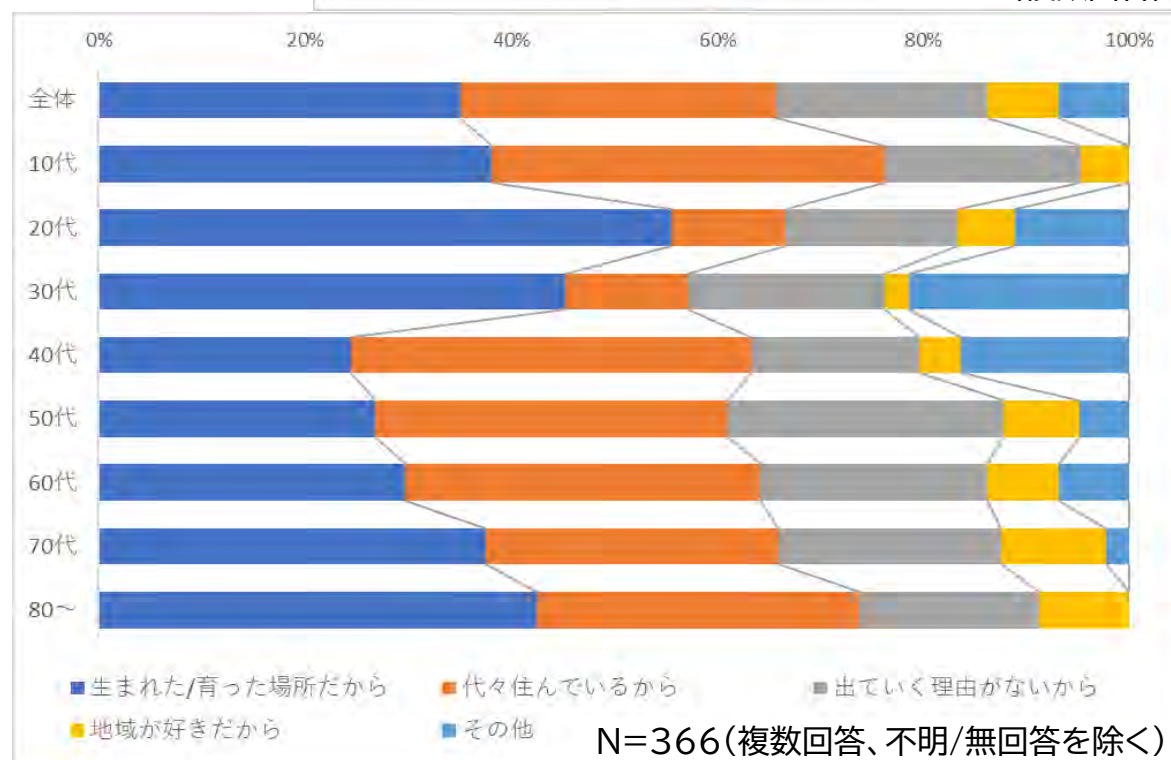
※グラフ中の「N=●●●」はサンプル(対象とした回答)数



考察 ①村に住んでいる理由／村内居住者

現在、村内居住の回答者の「村に住んでいる理由」は、「生まれた／育った場所だから」が170件で最も多く、次いで「代々住んでいるから」が149件などとなっています。

これを年代別の割合でみた場合、20代・30代では、「生まれた／育った場所だから」の割合が特に多く、「代々住んでいるから」の割合は特に少なくなっています。また、「生まれた／育った場所だから」の割合は40代で最も少なくなっており、40代以降、50代から80歳以上にかけて段階的に増加しています。

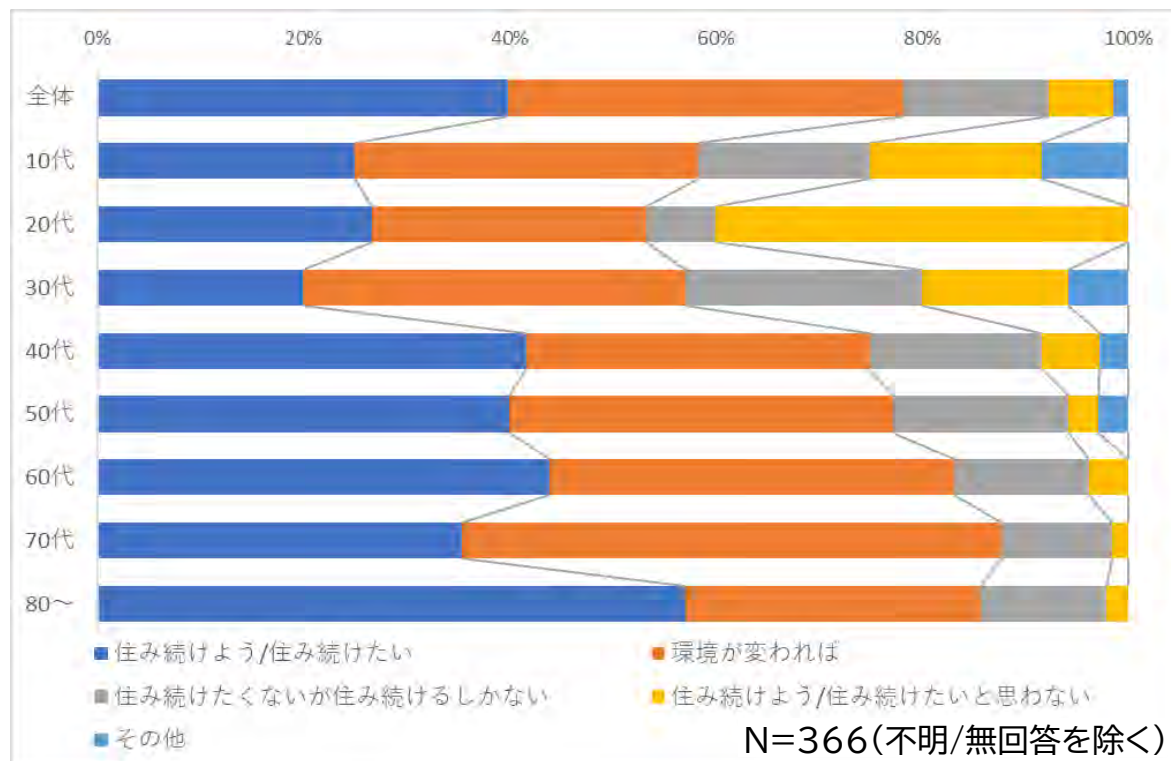


考察 ②村に住み続けたいか／村内居住者

現在、村内居住の回答者のうち、「これからも村に住み続けよう(住み続けたい)」と思っているのは38.5%、「環境が変われば住み続けよう(住み続けたい)」と思っているのは37.4%などとなっています。

No.	回答	%
1	住み続けよう/住み続けたい	38.5
2	環境が変われば	37.4
3	住み続けたくないが住み続けるしかない	13.7
4	住み続けよう/住み続けたいと思わない	6.0
5	その他	1.4
	不明/無回答	3.0
	計	100.0

年代別では、10代・20代・30代で「これからも村に住み続けよう(住み続けたい)」と思っている」の割合が他の年代と比較して特に少なく、20代では「住み続けよう(住み続けたい)」とは思っていない」の割合が特に多くなっています。また、「環境が変われば住み続けよう(住み続けたい)」と思っている」の割合は、70代で最も多くなっています。

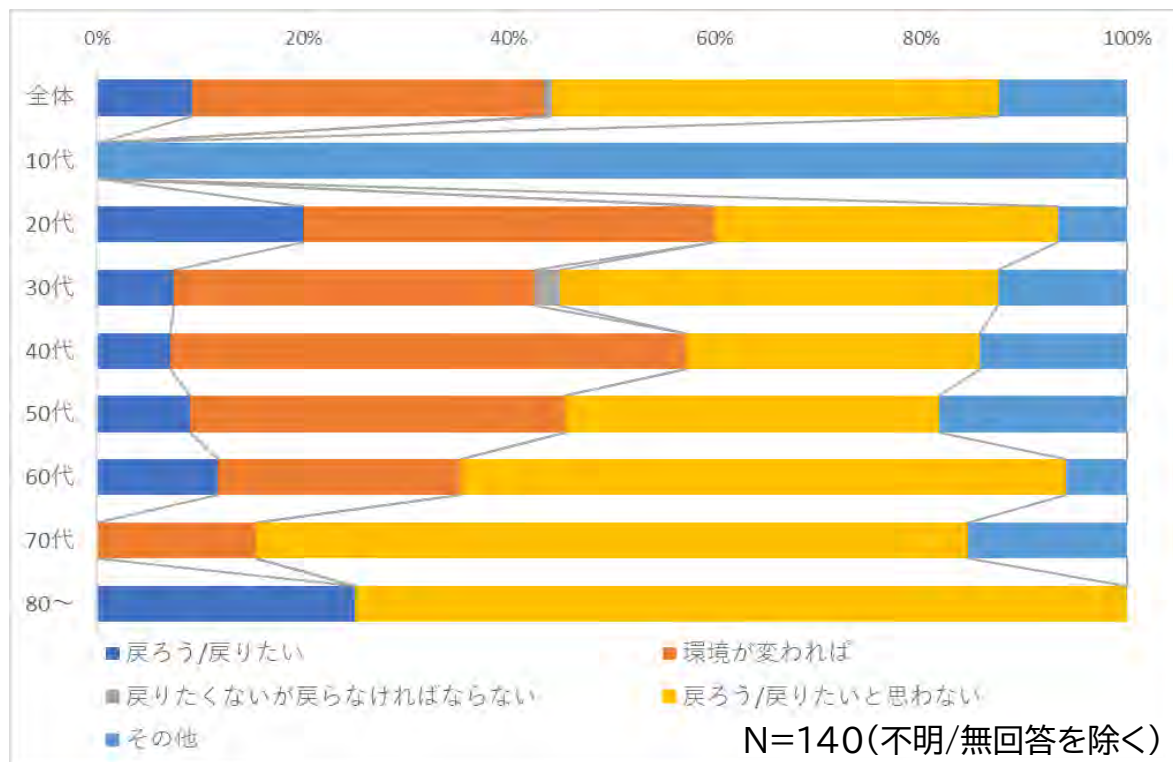


考察 ③村に戻りたいか／村外居住者

現在、村外居住の回答者のうち、「この先、村に戻ろう(戻りたい)」と思っているのは8.6%、「環境が変われば戻ろう(戻りたい)」と思っているのは31.4%で、「戻ろう(戻りたい)とは思っていない」のは40.0%などとなっています。

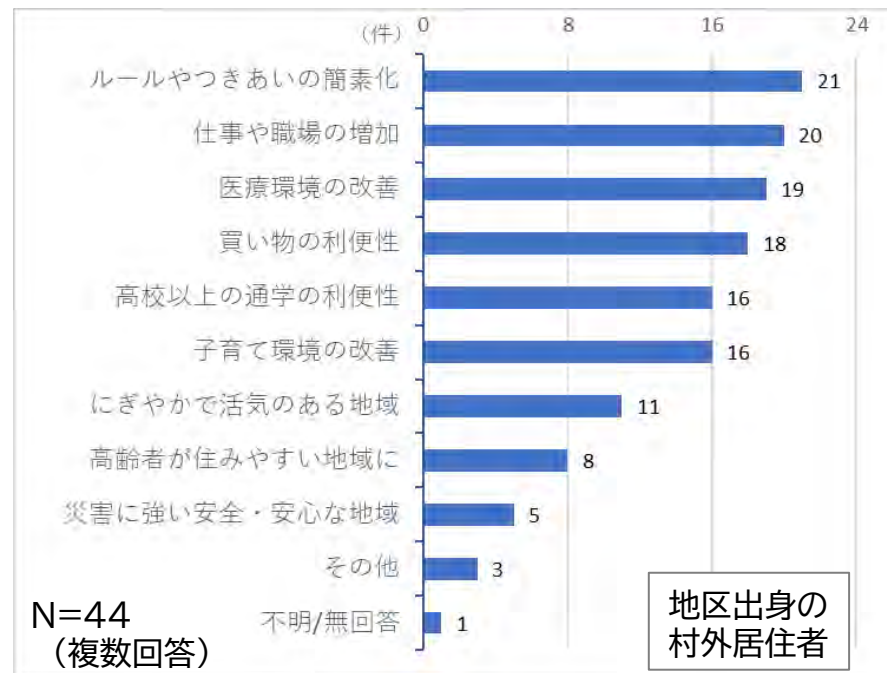
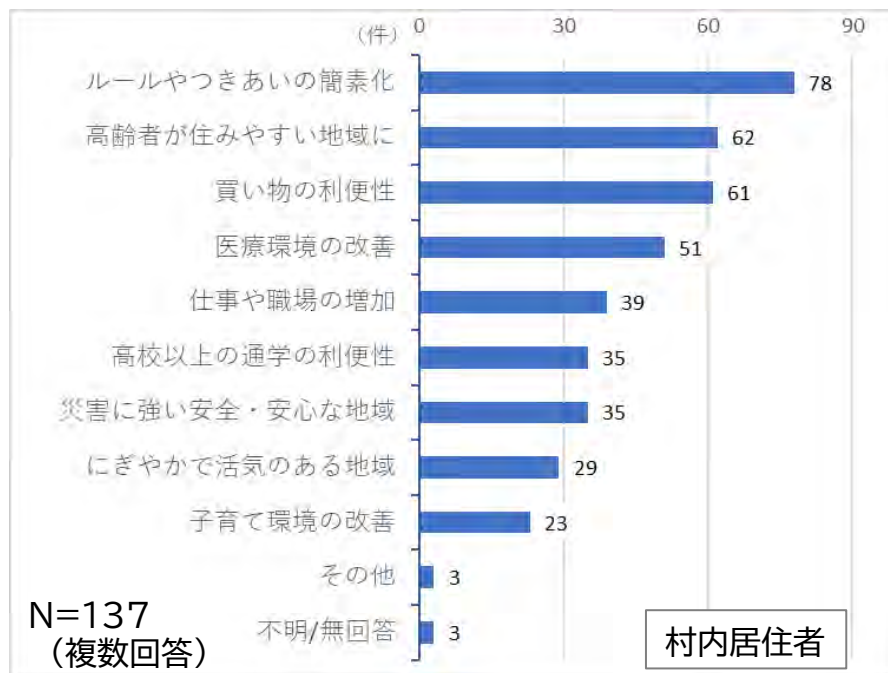
No.	回答	%
1	戻ろう/戻りたい	8.6
2	環境が変われば	31.4
3	戻りたくないが戻らなければならない	0.7
4	戻ろう/戻りたいと思わない	40.0
5	その他	11.4
	不明/無回答	7.9
	計	100.0

年代別では、20代と80歳以上で「この先、村に戻ろう(戻りたい)」と思っている」の割合が最も多く、「この先、村に戻ろう(戻りたい)」と思っている」と「環境が変われば戻ろう(戻りたい)」と思っている」の合計(村に戻る意向があると考えられる割合)は20代と40代で特に多くなっている一方、「戻ろう(戻りたい)とは思っていない」の割合は、40代から年代が上がるにつれ、段階的に増加しています。



考察 ④改善を望むこと

- ・ 村内居住者が「村で住み続けるために改善を望むこと」は、「ルールやつきあいの簡素化」が78件で最も多く、次いで「高齢者が住みやすい地域に」が62件、「買い物の利便性」が61件、「医療環境の改善」が51件などとなっています。
- ・ 地区出身の村外居住者が「村に戻るために改善を望むこと」は、「ルールやつきあいの簡素化」が21件で最も多く、次いで「仕事や職場の増加」が20件、「医療環境の改善」が19件、「買い物の利便性」が18件などとなっています。
- ・ 村内居住者、地区出身の村外居住者とも「ルールやつきあいの簡素化」が最も多い一方、2番目以降や年齢別の集計では、やや異なる傾向が見られました。

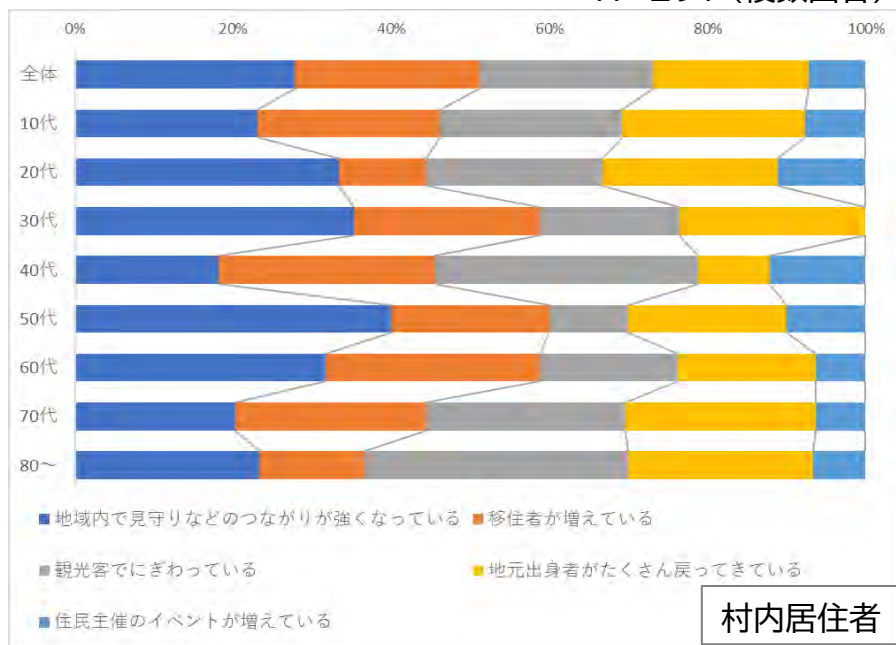


考察 ⑤望む将来像

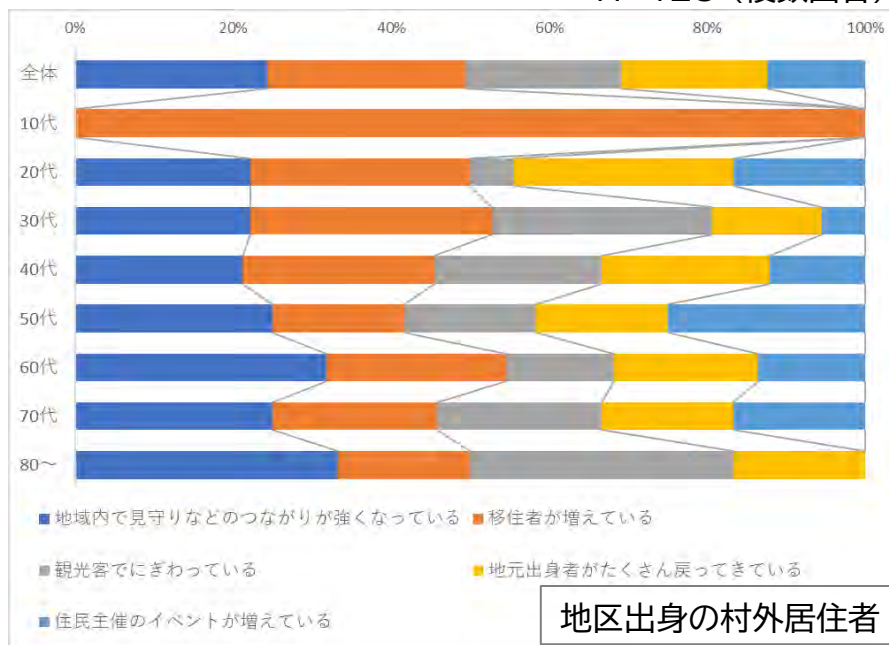
- ・村内居住者が望む「地区の将来像」は、20代と80代では「移住者が増えている」が、40代では「地域内で見守りなどのつながりが強くなっている」と「地元出身者がたくさん戻ってきている」が、50代では「観光客でにぎわっている」が他の年代と比較して少なくなっています。
- ・地区出身の村外居住者が望む「地区の将来像」は、20代では「観光客でにぎわっている」が、30代では「住民主催のイベントが増えている」が、50代と80代では「移住者が増えている」が他の年代と比較して少なくなっています。

※グラフは「その他」「何も思わない」及び不明/無回答を除く

N=291（複数回答）



N=123（複数回答）



西豊地区
まちづくり
基本構想

4.解決すべき課題の整理

地域の強みと弱み（住民アンケートより）

(1)地域の強み

- 自然環境に恵まれている（神野山、鍋倉溪、星、空気 等）
- 比較的アクセスがよい（名阪国道、都市部から近い）
- 人のまとまりがよい、仲がよい
- 人がよい、優しい、温かい 等

(2)地域の弱み

- 生活しづらい、不便（通学、買い物、子育て、通院）
- 地域に仕事・職場が少ない
- ルールやつきあいが煩わしい
- シンボルの神野山と距離感あり
- インフラ(特に道路)が未整備 等

地域の背景と課題

- ・村随一の観光資源である「フォレストパーク神野山」へは多くの方が来場されるが、サービス拠点施設の充実や商品が少ないこと等が課題となっている。
- ・過疎化による人口減少、進学、就職を機に、村外へ移り住む若者の増加による地域のコミュニケーション(繋がり)の希薄化を懸念し、旧西豊小学校区の5大字で構成された「西豊地区振興会」が設立され、「旧西豊小学校」を拠点に寺子屋、星空観察会、盆踊り等を実施している。
- ・生産者の高齢化・後継者不足により、特産である「大和茶」の生産が減少している。また、大和茶以外の産業が少なく、村内での雇用の確保が困難であるとともに、耕作放棄地が増加している。
- ・名阪国道・県道奈良名張線へのアクセス、村内アクセスの整備が不十分である。

人

産業

インフラ

- 産業としての観光が未成熟
- 過疎(人口減少・転出過多)に伴うコミュニケーションの希薄化
- 高齢化・後継者不足による茶生産の衰退と耕作放棄地の増加
- アクセス道路の整備が不十分

西豊地区
まちづくり
基本構想

5.コンセプトと基本方針

まちづくりのコンセプト

望む10年後の地域の姿（住民アンケートと課題整理より）

- 恵まれた自然と住民が共存・共生する地域
- 子育て世代や高齢者等すべての世代が暮らしやすい地域
- 住民同士のつながりや生活インフラの整備により安心して暮らせる地域
- 地元出身者や移住者のU/J/Iターンにより一定の人口が保たれた地域
- 地場産業の活性化や観光の産業化により経済基盤が支えられた地域

まちづくりのコンセプト

～みんなで取り組む～

ツツジ と **笑顔** が
咲きほこるまちづくり

まちづくりのコンセプトと基本方針

ツツジ と 笑顔 が咲きほこるまちづくり

それぞれが
象徴するもの



豊かな資源



豊かな暮らし

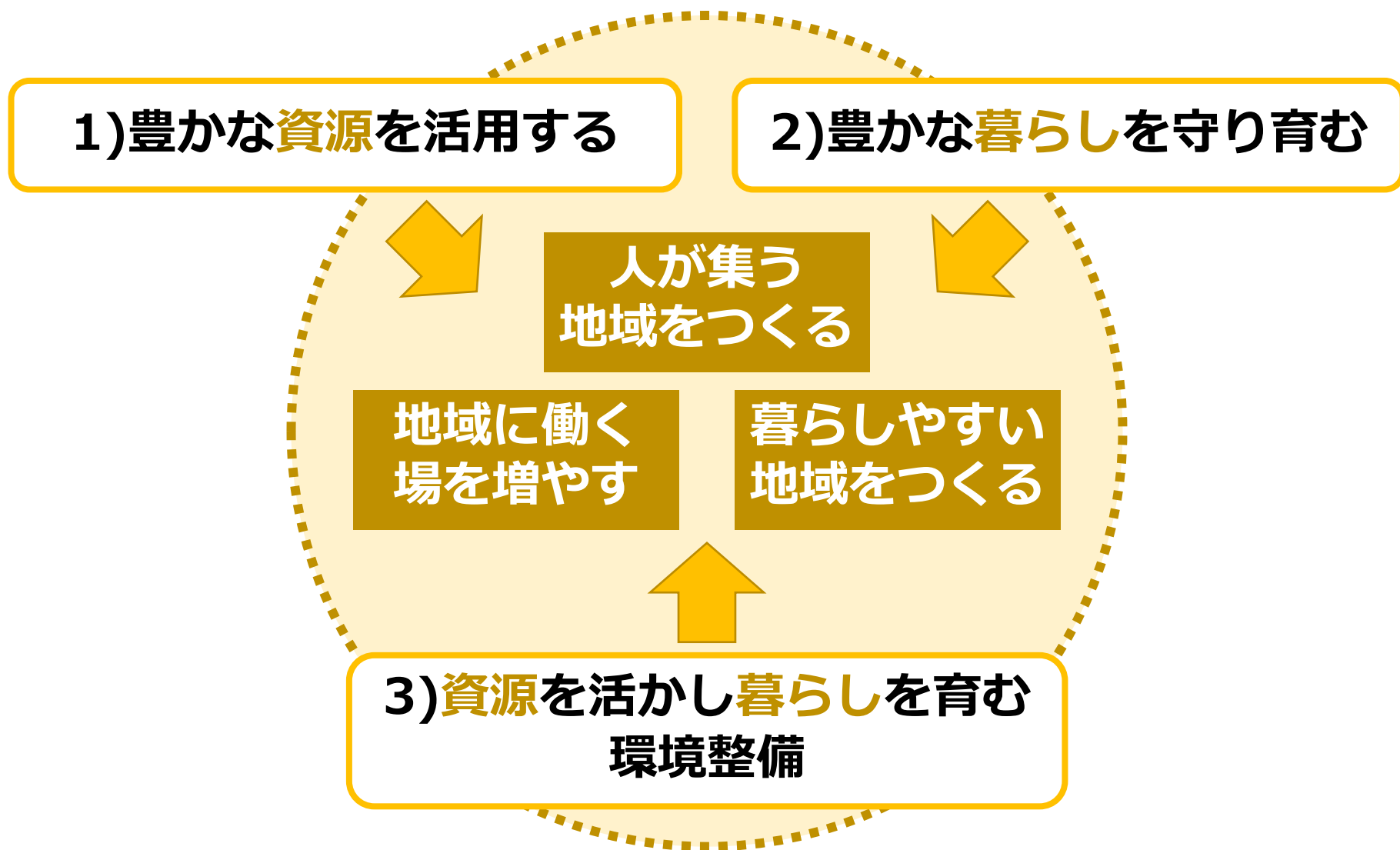
基本方針
(基本となる取組の軸)

1) 豊かな資源を活用する

2) 豊かな暮らしを守り育む

3) 資源を活かし暮らしを育む
環境整備

基本方針に基づく課題解決へのアプローチ



基本方針と取組の柱

1)豊かな資源を活用する

- (1) ツツジを活かす
- (2) ヒツジを活かす
- (3) 資源を活用した交流や産業の活性化

2)豊かな暮らしを守り育む

- (1) 誰もが暮らしやすい生活環境づくり
- (2) U/J/I ターンの受け入れ環境づくり
- (3) 時代に合った地域コミュニティの構築

3)資源を活かし暮らしを育む環境整備

- (1) 旧西豊小学校の整備
- (2) フォレストパーク神野山の整備
- (3) 交流と暮らしを支えるインフラ整備

基本方針 1)豊かな資源を活用する

(1) ツツジを活かす

- 現存のツツジの手入れと新たな植栽
- 散策路(歩道)の整備

(2) ヒツジを活かす

- めえめえ牧場の活性化
- 羊肉活用事業の推進
- 羊の草刈り隊派遣事業の推進

(3) 資源を活用した交流や産業の活性化

- ツツジ、羊、星空や農を活用した交流の拡大
- ツツジ、羊、星空や農を活用した特産品づくり

基本方針 2)豊かな暮らしを守り育む

(1) 誰もが暮らしやすい生活環境づくり

- 企業等との連携・協働による移動や買い物等の支援
- 地域で課題を解決する仕組みづくり

(2) U/ J /Iターンの受け入れ環境づくり

- 役場（窓口）と地域の連携
- 補助・支援の仕組みづくり

(3) 時代に合った地域コミュニティの構築

- 地域のルール・明文化
- 地域コミュニティの拠点としての旧西豊小学校の活用

基本方針 3)資源を活かし暮らしを育む環境整備

(1) 旧西豊小学校の整備

- 地域コミュニティや事業の拠点としての整備
- オフィスや宿泊施設としての整備

(2) フォレストパーク神野山の整備

- 乗り合いカートが走行可能な神野山周回ルートの整備
- 神野山周辺における宿泊施設の整備

(3) 交流と暮らしを支えるインフラ整備

- 名阪国道・神野口IC及び県道奈良名張線から西豊地区へのアクセス向上
- 二次交通の確保(コミュニティバスの創設)

西豊地区
まちづくり
基本構想

6.プロジェクトイメージ

基本構想に基づくプロジェクトイメージです。

実際の事業内容については、令和4年度、基本計画策定段階で精査～確定します。

イメージ ① ツツジの咲きほこる神野山づくり

地区のシンボル「神野山」を県を代表するツツジの名所として整備し、交流の拡大と、その景観を持続的に維持する仕組みづくりを進める。

西の「かつらぎ」
東の「こうの」

葛城山と並ぶツツジの名所に！

※葛城山との連携による 広域的な交流拡大

- 車いすでも散策可能な観賞路の整備
●現在の3倍のツツジの植栽 など



住民の 保護活動

パーク
ボラン
ティア

持続的な景観維持の 仕組みづくり

企業版 ふるさと 納税

ツツジの オーナー 制度

クラウドファンディング

イメージ ② 羊まるごと活用プロジェクト

交流拡大と新たな産業・雇用の創出及び地域のブランディングを目的に、「羊のいいとこ、全部伝えたい」をコンセプトとして以下の事業を推進する。



めえめえ牧場の活性化

- ・交流機会の創出～拡大
- ・ファンの育成～共創の場へ
- ・「ひつじの学校」の事業化



羊肉活用事業

- ・希少な国産羊の食肉化
- ・特色ある「大和茶羊（仮称）」の肥育
- ・羊肉普及団体との連携
- ・地域内雇用の拡大

第3次
羊肉ブーム
到来中!!



羊の草刈り隊派遣事業

- ・村内外の課題解決
- ・環境負荷低減→SDGs
- ・地域ブランディング

「羊」
といえば
「山添村」



イメージ ③ 神野山 周回ルート整備

ツツジ、羊、星空等の地域資源を活用した交流拡大を進めるため、神野山に周回ルートを整備し、環境負荷の少ない電動カートを導入する。



イメージ④ 神野山周辺における宿泊施設の整備

ツツジ、羊、星空等の地域資源を活用した交流拡大を進めるとともに、来訪者の滞在時間延長による経済効果拡大のため、宿泊施設を整備する。



グランピング場

※画像は「那須高原PURE」のWEBサイトより

キャンプ場(ファミリーキャンプ)



バンガロー村

場所や施設の形態については、来訪者へのヒアリングや地域の意見を踏まえ、基本計画において確定する。

【想定するイメージ】

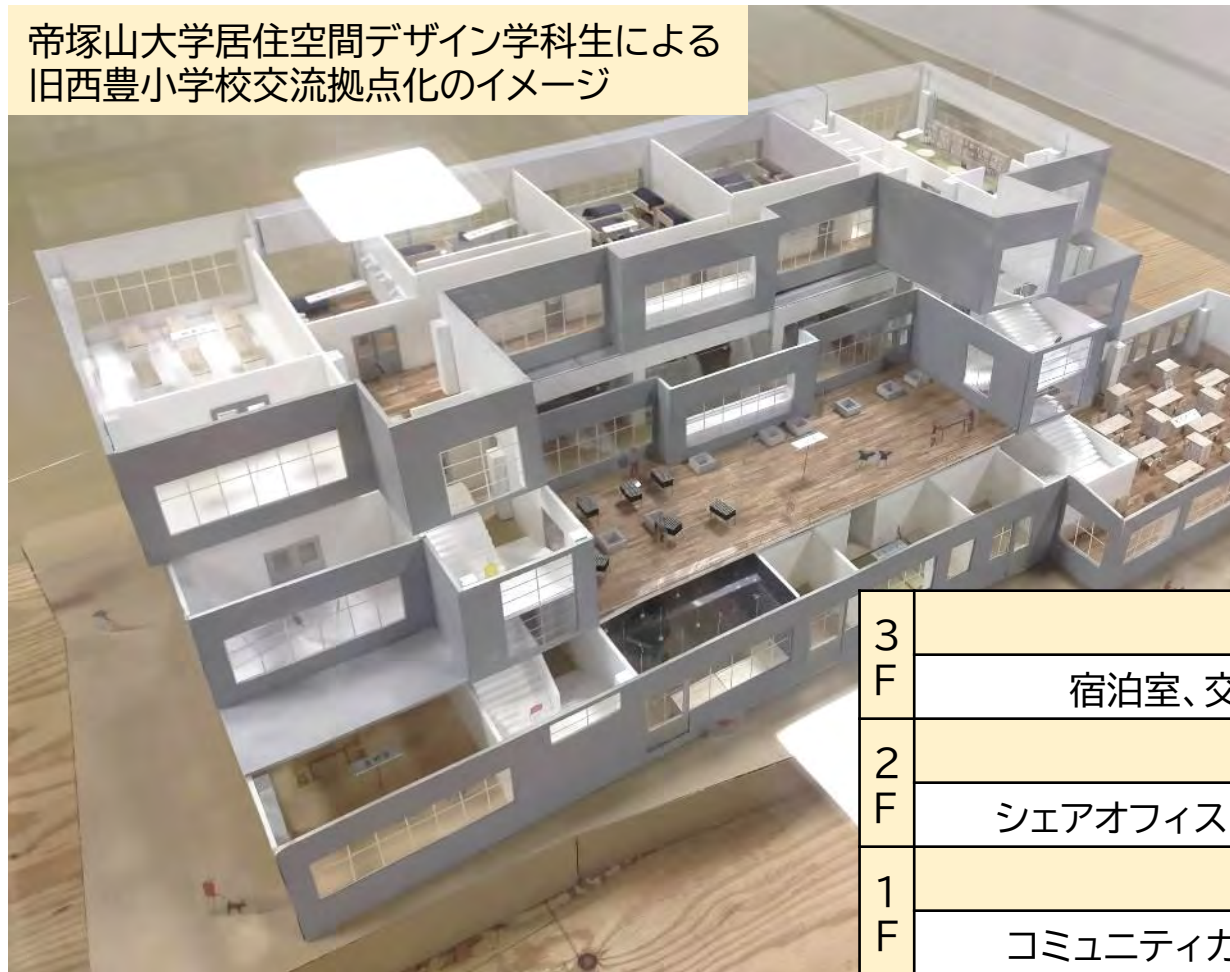
- ・神野山におけるキャンプ場やグランピング場の整備
- ・旧西豊小学校を活用した簡易宿泊施設の整備



イメージ ⑤ 旧西豊小学校の交流拠点化

旧西豊小学校にオフィス機能と宿泊機能を持たせ、地域住民だけでなく、村外からの利用も可能な交流拠点として整備する。

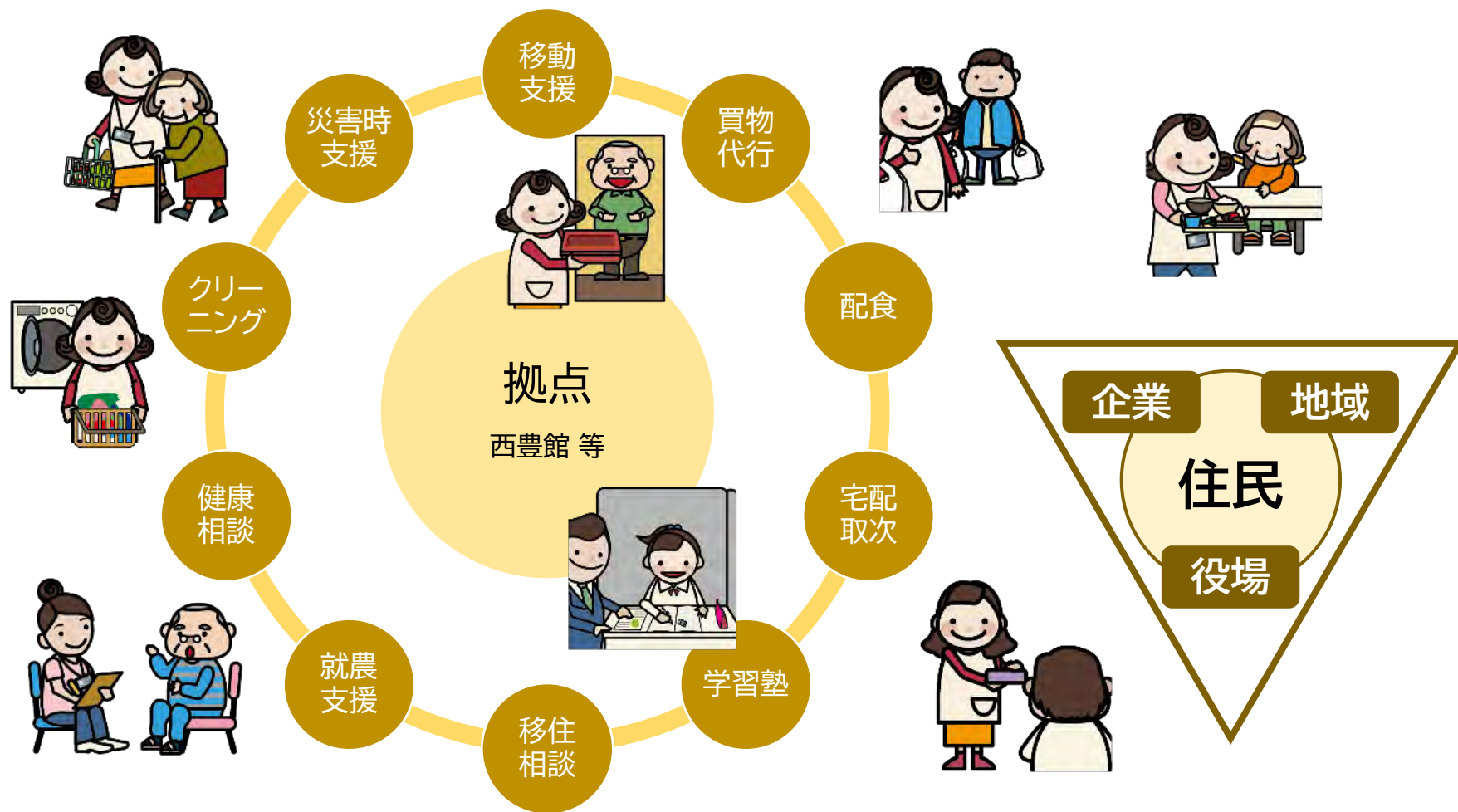
帝塚山大学居住空間デザイン学科生による
旧西豊小学校交流拠点化のイメージ



3 F	宿泊フロア
	宿泊室、交流スペース、シャワー室 等
2 F	オフィスフロア
	シェアオフィス、ビジネスセンター、スタジオ 等
1 F	交流フロア
	コミュニティカフェ、展示スペース、図書室 等

イメージ ⑥暮らしサポート事業

企業と地域、役場の連携により、暮らしの中で生じる「困りごと」などをサポートする事業を立ち上げ、誰もが暮らしやすい環境づくりを進める。



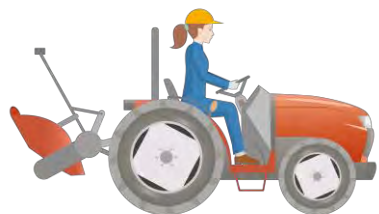
イメージ ⑦ 地域内シェアリングプロジェクト

住民が所有する農機具やトラック、自家用車等を有償で貸し借りできる仕組みを構築し、頻繁に使用しない車両等の保有負担を軽減する。

農機具所有の負担
解消による
耕作放棄地の縮小



移住者や若者の就農



ミニバンを借りて
三世代でのドライブ



地域団体、一般社団法人、企業 等

予約



使用料



利用したい人

所有者

Step 1

Step 2

Step 3

Step 4

予約リクエスト/承認

予約確定

クルマの受渡

クルマの返却



アプリによる対応も視野に(カーシェアサービス「ANYCA」のWEBサイトより)

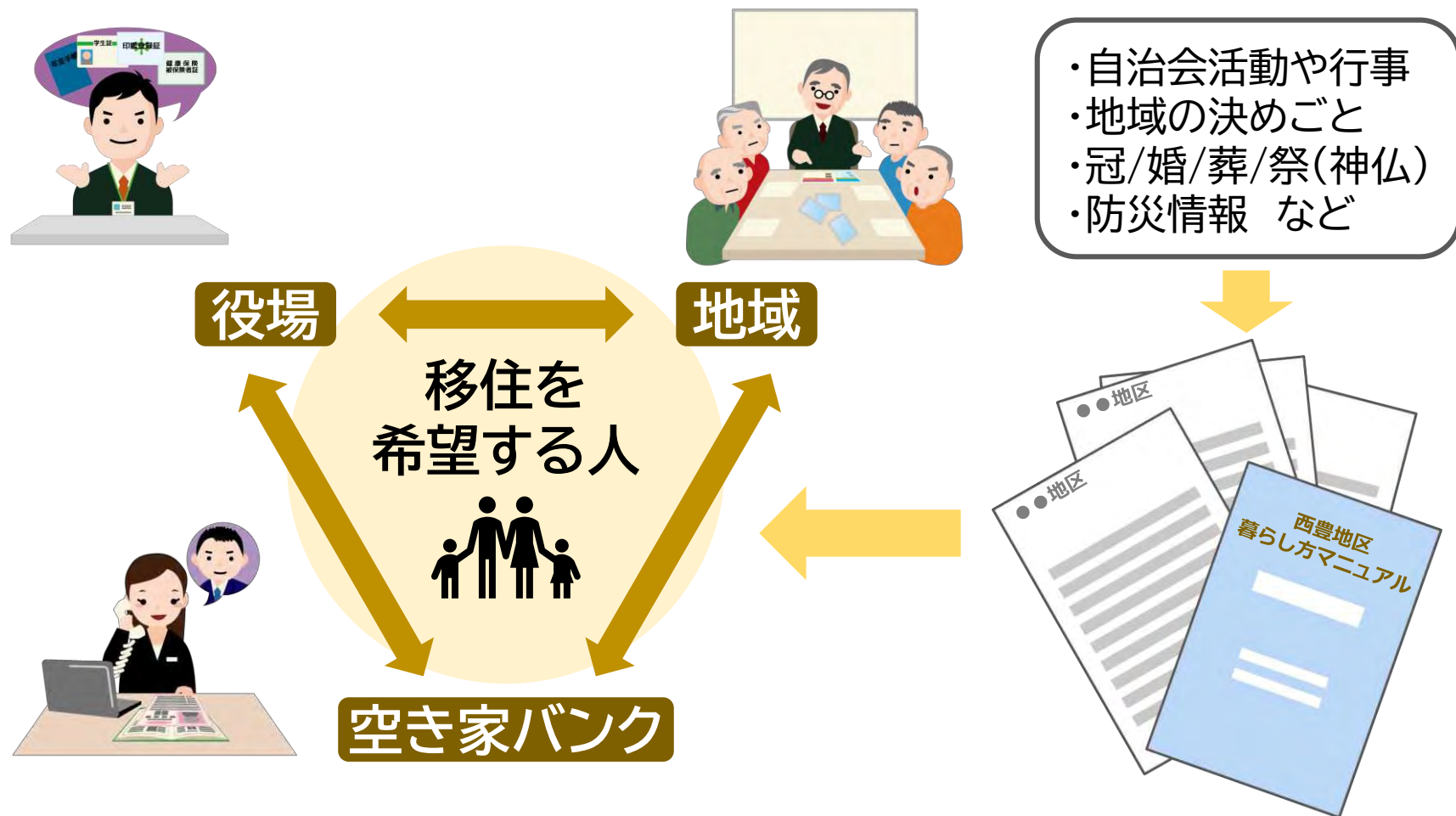
イメージ ⑧ コミュニティバスの創設

奈良交通バス北野バス停から神野山や旧西豊小学校へのコミュニティバス路線を新設し、既存のバス路線と合わせて来訪者の二次交通と地域住民の移動手段を確保する。



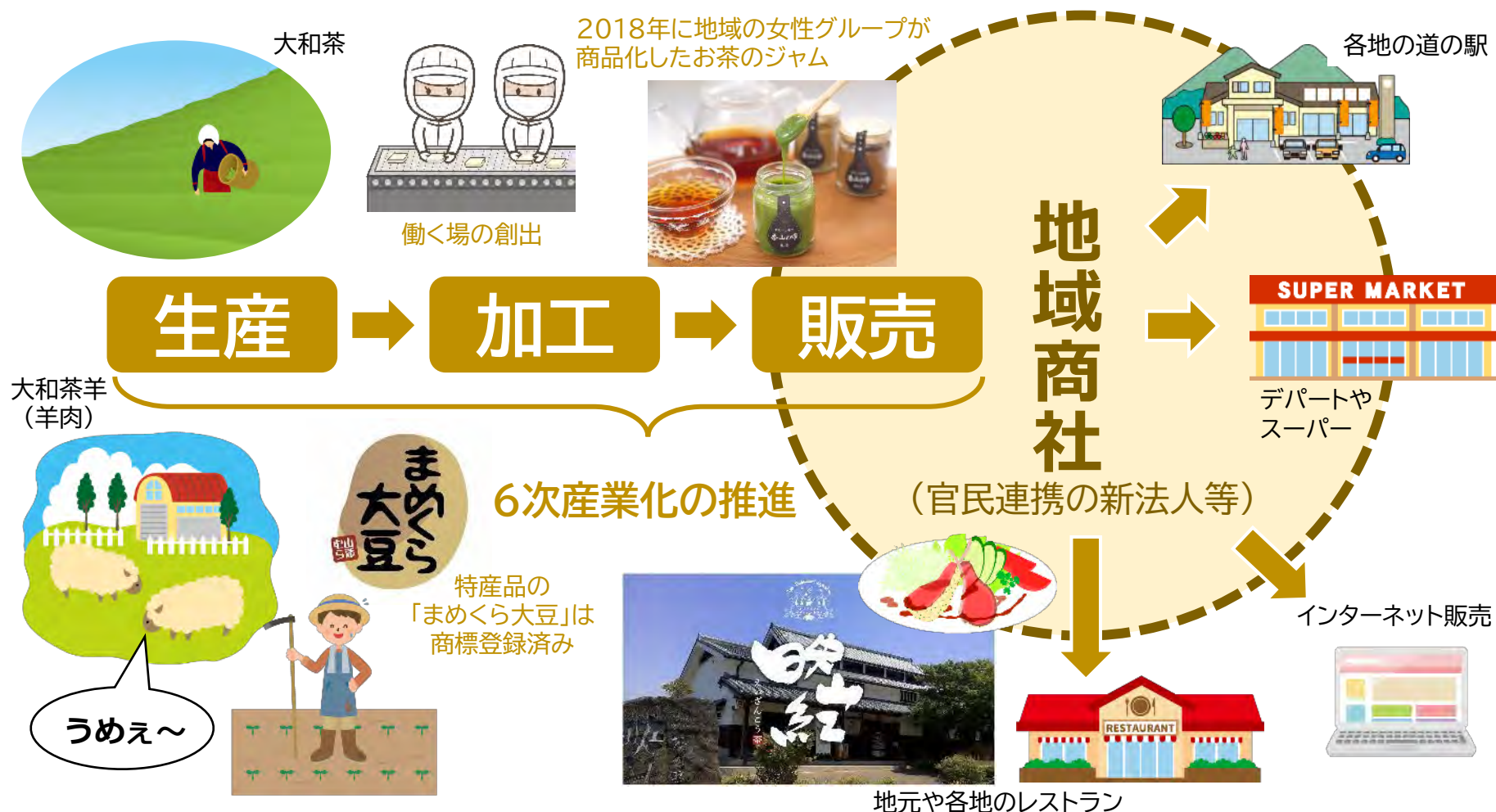
イメージ ⑨ 移住～定着しやすい環境づくり

地域の暮らしに必要な情報を誰もがわかりやすいようマニュアル化するとともに、役場と地域の連携により移住～定着しやすい環境を構築する。



イメージ ⑩ 山添の「うめえもん」づくり

特色ある農・畜産物を活用した食の特産品づくりを進め、6次産業化に取り組むとともに、地域商社を設立し、特産品の積極的な販路拡大を図る。



基本方針とプロジェクトイメージ

※特に関連の強いプロジェクトに対して矢印を表示



1) 豊かな資源を活用する

2) 豊かな暮らしを守り育む

3) 資源を活かし暮らしを育む
環境整備



西豊地区
まちづくり
基本構想

7.まちづくりを通してめざすこと

みんなが住み続けたい村の実現

この基本構想に基づくまちづくりでは、取組を通して住民の地域への愛着と誇りを醸成し、「やまぞえ未来創生計画」で村の将来像とした「みんなが住み続けたい村」の実現をめざします。

資源を活かす

暮らしを育む

咲き ほこる まち



上位計画である
「やまぞえ未来創生計画」で
めざす村の姿

愛着と誇りの醸成

「咲きほこるまち」から
「ほこれるまち」に！

**みんなが
住み続けたい村**

SDGsの推進

この基本構想に基づくまちづくりでは、以下のターゲットを指針に本村におけるSDGsの推進をめざします。



	SDGsの169のターゲットより	基本構想における関連する主な取組
	【8.9】 持続可能な観光業を促進する	1 (1)ツツジを活かす (2)ヒツジを活かす 3 (3)資源を活用した交流や産業の活性化 (2)フォレストパーク神野山の整備
	【10.7】 秩序のとれた、安全で規則的、責任ある移住や流動性を促進する	2 (2)U/J/Iターンの受け入れ環境づくり (3)時代に合った地域コミュニティの構築
	【11.2】 交通の安全性改善により、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する 【11.7】 緑地や公共スペースへのアクセスを提供する 【11.a】 都市部、都市周辺部、農村部間の良好なつながりを支援する	3 (3)交流と暮らしを支えるインフラ整備 3 (2)フォレストパーク神野山の整備 (3)交流と暮らしを支えるインフラ整備 1 (3)資源を活用した交流や産業の活性化 3 (3)交流と暮らしを支えるインフラ整備
	【15.b】 持続可能な森林経営のための資金の調達と資源を動員する	1 (1)ツツジを活かす 3 (2)フォレストパーク神野山の整備
	【17.17】 効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する	1 (1)ツツジを活かす 2 (1)誰もが暮らしやすい生活環境づくり 3 (1)旧西豊小学校の整備 ほか基本構想全般

西豊地区
まちづくり
基本構想

8. 構想図

西豊地区まちづくり基本構想

-構想図-

1)豊かな資源を活用する

- (1)ツツジを活かす
 - ・現存のツツジの手入れと新たな植栽
 - ・散策路(歩道)の整備
- (2)ヒツジを活かす
 - ・めえめえ牧場の活性化
 - ・羊肉活用事業の推進
 - ・羊の草刈り隊派遣事業の推進
- (3)資源を活用した交流や産業の活性化
 - ・ツツジ、羊、星空や農を活用した交流の拡大
 - ・ツツジ、羊、星空や農を活用した特産品づくり

資源活用を中心エリア (フォレストパーク神野山)

2)豊かな暮らしを守り育む

- (1)誰もが暮らしやすい生活環境づくり
 - ・企業等との連携・協働による移動や買い物等の支援
 - ・地域で課題を解決する仕組みづくり

構想対象区域

- (2)U/J/Iターンの受け入れ環境づくり
 - ・役場(窓口)と地域の連携
 - ・補助・支援の仕組みづくり
- (3)時代に合った地域コミュニティの構築
 - ・地域のルール・明文化
 - ・地域コミュニティの拠点としての旧西豊小学校の活用

県道 奈良名張線 北野バス停

⑧コミュニティバスの創設

④神野山周辺における
宿泊施設の整備

めえめえ牧場
②羊まるごと活用
プロジェクト

旧西豊小学校
(事業拠点)

③神野山
周回ルート整備

①ツツジの
咲きほこる
神野山づくり

県道 神野山公園線

県道 月瀬三ヶ谷線

名阪国道・神野口IC

3)資源を活かし暮らしを育む環境整備

- (1)旧西豊小学校の整備
 - ・地域コミュニティや事業の拠点としての整備
 - ・オフィスや宿泊施設としての整備

至 山添村役場

- (2)フォレストパーク神野山の整備
 - ・乗り合いカートが走行可能な神野山周回ルートの整備
 - ・神野山周辺における宿泊施設の整備

- ⑤旧西豊小学校の交流拠点化
- ⑥暮らしサポート事業
- ⑦地域内シェアリングプロジェクト
- ⑨移住～定着しやすい環境づくり
- ⑩山添の「うめえもん」づくり

暮らしを育む拠点エリア

- (3)交流と暮らしを支えるインフラ整備
 - ・名阪国道・神野口IC及び県道奈良名張線から西豊地区へのアクセス向上
 - ・二次交通の確保

至 名古屋

～みんなで取り組む～

ツツジと笑顔が咲きほこる
まちづくり